

関市立金竜小学校「地震を知って、おうちの地震防災を始めよう」

令和元年 11月9日(土) 開催

A:学校行事参加型・B:体験活動参加型・C:講演会型

防災をテーマにした親子講演会が実施されました。当日は、総合学習の内容から5・6年生の親子が参加されたほか、他学年の保護者の参加もありました。あらかじめ、家の中を上から見た絵(間取り図)を描いたものを持ち寄り、講師と共に「家庭内DIG(ディグ)」を行いました。親子で家の危険場所を認識し、わが家の防災としてすべきことがはっきり共通理解できたのではないのでしょうか。(※「DIG(ディグ)」Disaster(災害)・Imagination(想像力)・Game(ゲーム)の頭文字を取って名付けられた。災害図上訓練)



〈親子で話し合う相談タイムの様子〉

〈講師〉 村岡 治道 氏 (岐阜大学 地域減災研究センター教授)

〈主催者の願い〉 ここ最近、災害が多発していることから、大切な命を守るために、防災に対する知識をもつことが必要だと考えた。親子で防災について話し合うきっかけにしたい。



〈学級長さん挨拶〉

【保護者の感想(一部抜粋)】

- ・親子で一緒に防災を考える機会をもらった。
- ・「本物の防災」を知ることができたと感じた。自分の考えがいかに甘かったかを痛感した。大切な人、そして自分を守るためできることを、少しでもやっていききたい。
- ・リアルな映像を見せてもらい、具体的な自宅の間取りで危険箇所をイメージすることができた。防災を家族で真剣に取り組みたいと思えた。

＊学びポイント＊

- 〈親子の話し合いを大切にしたい〉
- ・親子が隣同士に座り、講話で学んだことを基に自分の家の防災について考える中で、お互いの考えをよく聞き、より安全な方法を話し合う親子活動にされたこと。
- 〈関心の高いテーマで保護者の参加を促す〉
- ・土曜日の参観日に併せて開催され、父親の参加も多くあった。関心の高い防災をテーマにされたことで、多くの保護者の参加を促されたこと。

関市立旭ヶ丘小学校

令和元年 11月15日(金) 開催

『人権学習講演会「子どもの人権を守ろう」 ～子どもを信じ、信頼される大人であるために～』

A:学校行事参加型・C:講演会型

フリー参観日に併せて、人権学習会を開催されました。関市では、「人権宣言都市」として人権教育及び啓発に積極的に取り組まれています。当日は、講師が設定された場面での役割演技を通して「自分で考える子供を育てること」について考えました。また保護者ペアで、子供の思いを受けとめる話し方を練習し、「大人ができること」について学びました。講話と体験を通して子供の人権への理解を深める機会にされました。

〈講師〉 松尾 千景 氏 (ぎふCAP)

〈主催者の願い〉

昨今の子供たちの人権に関わる状況は、いじめ、体罰、虐待、子供が被害にあう犯罪など、深刻な状況にあることから、子供が一人の人間として最大限に尊重されるよう、保護者の関心と理解を深めたい。



〈講話の様子より〉

【保護者の感想(一部抜粋)】

- ・子供の話を否定せず聞いてあげたい。
- ・どんな時に、どう危険を回避するのか一緒に考えていきたい。
- ・いやなことは「いや」と言って良い。自分で考えて行動することがとても大切だと感じた。
- ・子は親が守るもので間違いはないと思うが、自分を守る子供であってほしいと思った。

＊学びポイント＊

- 〈事前アンケート質問を募る〉
- ・悩みの質問や相談ができることを知らせ、事前に募ること、保護者の気持ちに寄り添う開催になるよう工夫されていること。
- 〈役員さんの運営協力〉
- ・当日の会場準備、受付、あいさつ、写真撮影、片付け等を役員さんが事前に役割分担され、協力的な運営がされていること。



☆バックナンバーは「中濃県事務所HP」からダウンロードできます。

令和2年 3月作成
中濃県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育担当: 後藤
〒501-3756 美濃市生櫛 1612-2
TEL: 0575-33-4011 内線 210
E-mail: goto-yuka@pref.gifu.lg.jp

令和元年度 第2回美濃地区子ども応援会議 主催:美濃教育事務所

令和2年1月29日(水) 会場:岐阜県中濃総合庁舎

テーマ 『子どもの笑顔と安心感を育む居場所づくり・絆づくり』～学校・家庭・地域が連携して～

〈参加者〉美濃地区教育長会長、関・郡上警察署生活安全課長、青少年育成推進指導員代表、少年補導員代表、小中高 PTA 代表、スポーツ少年団代表、主任児童委員代表、幼稚園・保育園代表、小中高等学校長、生徒指導関係者、子ども相談センター関係者、各市教育委員会関係者、中濃県事務所青少年担当・社会教育担当、家庭教育推進専門職、岐阜県環境生活政策課、岐阜県教育委員会

第2回子ども応援会議が開催されました。テーマ「子どもの笑顔と安心感を育む居場所づくり・絆づくり」のために、関係団体で取り組まれたことなどを様々な立場から交流しました。また、実践発表では関市の家庭教育学級の取組について発表がありました。今後の子供たちの健全育成につながる貴重な交流の機会になりました。

…【日程】…

- *開会挨拶 美濃地区教育長会長 吉田 康雄 関市教育長 様
- *あたたかい言葉かけ運動優秀作品の選考
- *実践発表 「令和元年度 関市の家庭教育学級」 関市協働推進部 生涯学習課 熊崎 康文 様
- *意見交流 グループごとに実践発表・取組紹介を通じて意見交流

【参加者の感想(一部抜粋)】

- ・家庭―地域―学校の連携、つながりは、これからの時代増々必要であると思う。今日紹介された方の感想などを見ると、「参加してよかった。」等、参加につながる感想があった。こういった感想を紹介して参加を呼びかけるのも良いと思う。
- ・子どもの数の減少により、子どもをもつ世帯の減少、近所の子どもが減少等により、若い親の子育てに関する経験値が減少している。そうした中、家庭教育学級の開催によって、子育てのあり方について学び再確認ができることで、親同士の横のつながりが生まれ、子育てに少しでも自信が持てるようになる。一人の親でも「良い内容であった」と思われれば、それが周りに広がり、さらに交流の場が広がっていくと考えられる。素晴らしい取組を今後も継続して行ってください。

令和2年度 美濃地区家庭教育学級リーダー研修会のお知らせ

郡上市乳幼保小中合同リーダー研修会

令和2年4月14日(火)13:20～(受付開始13:00)
郡上市役所大和庁舎 2階 防災研修室 にて

関市・美濃市合同小中リーダー研修会

令和2年4月22日(水)13:45～(受付開始13:30)
中濃総合庁舎 5階大会議室 にて

関市・美濃市合同乳幼保リーダー研修会

令和2年4月23日(木)10:00～(受付開始9:45)
関市福祉会館 3階会議室 にて

ご参加
お待ちしております!



子育てサロン型の取組

学校行事・体験活動・講演会に子育てサロンを加え、保護者が交流する機会にされました。

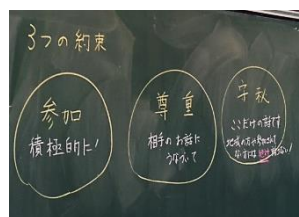
関市立瀬尻小学校

令和元年 11月2日(土)開催

「子育てサロン」

A:学校行事参加型・D:子育てサロン型

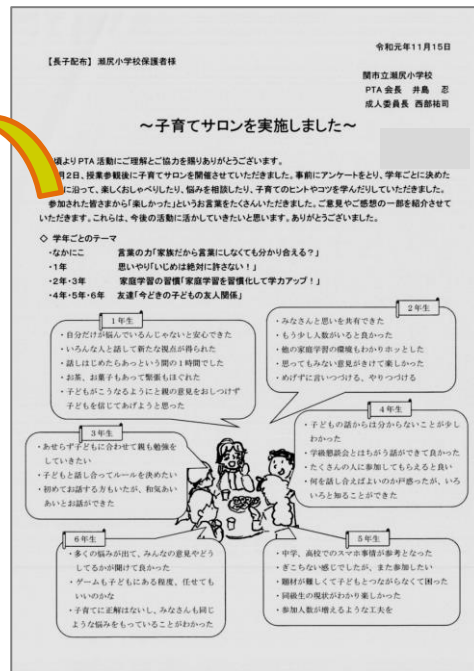
〈黒板に書かれた3つの約束〉



土曜日のフリー参観日の後に、全学年が子育てサロン会を開催されました。今年度初の取組だそうです。交流のテーマは、事前アンケートで保護者の希望が多かった内容を、学年ごとに決定されました。司会進行は、役員さんが務められ、先生方は全体のアドバイザーとして参加されました。「またこのような機会があったら、ぜひ参加したい」という参加者の感想も多く、充実した取組になった様子が伝わってきます。



〈子育てサロンの様子〉



〈子育てサロンの感想をまとめ発行された通信〉

〈主催者の願い〉

保護者にとって関心の高い子育てのテーマについて、子育てサロンで交流し、悩みを相談したり子育てのヒントやコツを学んだりする機会にしたい。

学年ごとのテーマ

- ◆なかよしにこにこ 言葉の力「家族だから言葉にしなくても分かり合える？」
- ◆1年生 思いやり「いじめは絶対に許さない！」
- ◆2年・3年生 家庭学習の習慣「家庭学習を習慣化して学力アップ！」
- ◆4年・5年・6年生 友達「今どきの子どもの友人関係」

【保護者の感想より(一部抜粋)】

- ・自分だけが悩んでいるんじゃないと安心できた。(1年)
- ・話し始めたらあっという間の1時間だった。(1年)
- ・思ってもみない意見がきけて楽しかった。(2年)
- ・初めてお話する方もいたが、和気あいあいとお話できた。(3年)
- ・学級懇談会とは違う話ができて良かった。(4年)
- ・中学、高校でのスマホ事情が参考となった。(5年)
- ・多くの悩みが出て、みんなの意見やどうしているかが聞いて良かった。(6年)

＊学びポイント＊

〈事前アンケートでテーマを設定〉

・事前にテーマに関するアンケートを実施し、保護者の関心が高い内容をテーマに交流されたこと。学年に応じた悩みが交流でき、活発な交流につながったこと。

〈わが校でやってみよう！初の試みを実現〉

・役員さんと学校の連携により、初の試みを実現されたこと。

プログラム紹介 (◆4年・5年・6年生で活用されました)

「今どきの子どもの友人関係とは」

こんなことはありませんか？

中学2年生のえみさんは、スマホを使い始めて片時もスマホを離しません。食事の時も、家族でくつろいでいる時も、SNSで友だちとやり取りをしています。

見かねて、父親が注意をすると「すぐに返信しないと会話からはずされて、悪口を言われるんだよ。」と答えました。



思春期の子どもの友達関係について、事例を通して交流することができます。親としての見守り方のポイントがまとめられた資料や、進行案も添付されています。

交流の流れ

〈ワーク1〉

このエピソードを読んで感想を話し合ひましょう。

えみさんは、本当はどうしたいと思っているのでしょうか。えみさんの気持ちになって考えてみましょう。

〈ワーク2〉

中学生になってからの子どもの友だち関係について、変わったこと、もしくは気になることを話し合ひてみましょう。

関市立桜ヶ丘中学校

「給食試食会・家庭でできる食育」

令和元年 10月25日(金)開催 A:学校行事参加型・B:体験活動参加型・C:講演会型・D:子育てサロン型

授業参観日に併せ、参観授業の前に給食試食会・講話・子育てサロンを開催されました。講師からは、普段なかなか聞くことができない調理の際の徹底した衛生管理や、作業工程などの工夫についての話があり、参加者は熱心に耳を傾けられました。「食事はとても大切にしている」という感想もあり、育ち盛りの中学生をもつ保護者にとって、関心の高いテーマでの開催になりました。給食を話題に親子のコミュニケーションが深まりそうです。



〈講師〉井藤 ほなみ 氏

(桜ヶ丘中学校栄養教諭・関市学校給食センター勤務)

〈主催者の願い〉

給食を通じて保護者との交流を深めたい。



〈講師の講話を熱心に聞かれる皆さん〉

＊学びポイント＊

〈活動の組合せの工夫〉

- ・授業参観日と同日開催にして、参加者の負担を減らし参加しやすい工夫をされていること。
- ・「給食」という1つのテーマで活動を組み合わせ、親の学びを深められたこと。
- ・「参加して良かった！また参加したい！」につながる工夫
- ・資料として人気給食メニューのレシピを配布、交流時に茶菓子等の準備をされ、和やかな雰囲気づくりをされたこと。

【保護者の感想(一部抜粋)】

- ・子供と家での会話が給食でいっぱいになりそう。レシピから何か作ってみたい。
- ・給食が、こんなに細かく気を遣いながら作られているとは知らなかった。ありがたさを感じる。毎日、子供たちが帰ってきてから、給食について話す機会を設けようと思った。
- ・家では子供と給食の話で盛り上がり、「給食美味しかったよー」と言うので、「でしょ！美味しいんだから！」と、すごく誇らしげだった。

関市中央親子教室

「父親交流会」

C:講演会型・D:子育てサロン型

令和元年 11月17日(日)開催

年1回、父親が交流する機会を大切に継続して実施されています。前半の講話の中で、講師は「大切なのは親が望むようなお子さんに変えるのではなく、その子が持っている力を支えること。」と話されました。参加者からは、「やるべきことを見つけれられた。」という感想もありました。後半の交流会には、卒園された先輩保護者も参加され、様々な質問に自身の経験を話されました。親の思いを交流し合う貴重な機会にされました。



〈子育てサロンの様子〉

〈講師〉神野 幸雄 氏 (岐阜大学准教授)

〈主催者の願い〉 普段、なかなか会う機会のもてない父親同士が知り合い、子育てについて話し合うことができる場にしたい。また、障がい児教育の専門家から子育て(特に幼児期)の大切な事を教えてもらい、相談できる場にしたい。

【保護者の感想より(一部抜粋)】

- ・他の父親と話ができて良かった。疑問や困っていることを聞き、色々な考え方があり参考になった。
- ・子供は親のしてくれたこと、嬉しかったことを覚えているという話に感動した。できる限り子供が嬉しがることをやってあげたいと思った。
- ・どんな時も子供と向き合うこと。子供の可能性を信じること。大事にしたい。
- ・子供の成長には周りの環境が大切で、親の都合を押し付けるのではなく、子供のペースを優先したいと思った。

＊学びポイント＊

〈保護者が参加しやすい工夫〉

- ・父親が参加しやすい日曜日に実施されたこと。
- ・託児をして開催し、夫婦が揃って参加しお互いの意見を聞くことができるように、また兄弟姉妹連れでも安心して参加できるように配慮されたこと。
- 〈講演会にひと工夫(講演会型+子育てサロン型)〉
- ・講演会后に、講師同席のもと参加者の交流会(1時間)を設け、悩みや質問にも答えていただけたこと。